

# 東和が大が廃校

## 09年度末 学生減、経営難で

工学部単独の東和大（福岡市南区）を運営する学校法人・福田学園は、来年度の募集停止を正式に決め、文部科学省に報告していたことが分かった。東和大は在校生が卒業する09年度末をもって事実上廃校となる。理由としており、同省による

と、経営上の問題で4年制大学が廃校になるのは極めて異例という。文部科学省などによると、同学園の福田正行理事長らが22日夕、同省を訪れ、来年度の工学部の募集停止を伝えるとともに、書面を提出した。福田理事長は理由について「学生が集まらず、改善のめどが立たない。大」と話した。

（同）の知名度が高いことから、今春以降、名称を「純真」に変更し、新たに文系学部などを設置する方向で準備を進めていた。しかし、準備不足などから学部新設の認可申請を断念していた。既存の工学部だけでは今後十分な学生数確保は困難と判断したらしい。

同省によると、同学園が新学部を設ける場合、大学新設の認可が必要。廃校を巡っては、広島県の立志館大学が04年1月、同省に「閉学届」を出している。

理事の一人は「経営にすることであり、コメントするのはなかなか難しい」と話した。

【大久保寛宏】

## 「廃校回避したい」

### 東和大募集停止

### 運営法人 見 教員解雇で改革

東和大学（福岡市南区）募集停止を決めた問題で、が二〇〇七年度の学生募集 同大を運営する学校法人

福田学園の山崎正行常務 員の解雇を進めるなどし、理事が二十四日、同学園で大学の運営態勢を見直し（南区）で会見し、「教員、廃校を回避したい」と話した。

と話した。山崎理事は募集停止決定の理由について①教員側に新学部設置など改革案を提示したが理解が得られなかった②工学部の不人気などが続き、来年度は本年度の入学者百二十人（定員百六十人）をさらに下回る可能性が高い③受験生が進路先を決める時期となり、募集する

かはつきりさせる必要があった一など説明。〇九年度で廃校になる可能性が指摘されていることについて、山崎理事は、学園の運営上、大学の廃校は大幅な収入減につながるとして「できるだけ早く教員の整理解雇に取り組むなど改革を進め、募集を再開したい」と話した。

## 総合大学化案は断念。苦渋の決断

東和大学を運営する福田学園の福田正行理事長は、二十三日夜、西日本新聞の取材に応じ、学生募集停止の決定は「苦渋の決断」などと述べた。主な内容は次の通り。

「なぜ募集停止するのか。今春の入学学生が定員を割り、来年度は百人を切る可能

福田理事長一問一答

性も出てきた。工学部だけの単科大学から、文系学部を含めた総合大学化する改革案を考えたが、学内の理解が得られず再生案がなくなった。苦渋の決断だ。

「いったん募集停止すると、通常は廃校するといわれるが、

「このまま改革を進められないと廃校せざるを得ない。また募集再開するかも知れない。今後については協議中だ」

「学園財政が赤字なのか。東和は大赤字だが、学園全体では黒字だ。ただ、法人を運営する中で選択と集中は必要。東和大を現在のまま存

続すると赤字が拡大するのは明らかだ。メスを入れるところには入れないといけない」

「具体的な改革案は。勉強しないで入れるような大学は『社会の必要悪』とさえいわれる。そうならないよう、高等教育機関として教育の質を高めなければならぬ。そのためには教員の解雇も必要となる」



東和大学の学生募集停止について説明する福田学園の山崎正行常務理事 11月24日午前

2006.8.24 西日

(第3種郵便物認可)